



新技術開発財団 第49回市村産業賞 本賞を受賞
特殊ポリカーボネート樹脂「ユピゼータ®EPシリーズ」

 三菱ガス化学株式会社

2017年4月27日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、「高屈折率・低複屈折特殊ポリカーボネート樹脂の開発」により、公益財団法人新技術開発財団の「第49回市村産業賞 本賞」を受賞しました。

市村産業賞は、産業分野の進展に貢献・功績のあった技術開発者またはグループに贈られ、本賞はその最高賞です。基礎原料や誘導品を製造する化学メーカーによる市村産業賞 本賞の受賞は、今回が初となります。

本技術による受賞は、一般社団法人日本化学工業協会の「第48回日化協技術賞 総合賞」、公益社団法人日本化学会の「第65回化学技術賞」に続いてとなります。化学分野のみならず、産業全体でも評価いただいたことは、グループビジョンである「社会と分かち合える価値の創造」を具現化したものと考えております。



授賞式の様子



特殊ポリカーボネート樹脂「ユピゼータ®EP」

【受賞技術について】

本技術は、スマートフォンやタブレットに搭載されるカメラレンズ等に使用される、ポリカーボネート樹脂の開発に関するものです。本技術をもとに製品化された特殊ポリカーボネート樹脂「ユピゼータ®EP」は、高屈折率（レンズの薄型化に寄与）に加え、分子レベルの設計による低複屈折性（画像の鮮明化に寄与）を有し、高い成形性も兼ね備えた、世界初の材料です。光学性能と生産性が非常に優れた光学材料として、産業上の価値が極めて高いことが評価され、本賞の受賞に至りました。

今後は、車載カメラや監視カメラ、ゲーム機、医療デバイスなど、さまざまな用途への展開が期待されます。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL：03-3283-5041